

-001



標準タイプ

ジャケット上部と下部、強化ガラス筒、PFA30mlバイアルで構成されています。ジャケットはねじ式蓋のため準備が簡単で、強化ガラス筒の外側はPFAフィルムで被覆され、強度が向上しています。温度測定タイプは、ジャケットとPFAバイアルの蓋にポートが加工されており、市販の温度計センサーを挿入することが可能で、容器内部の温度上昇のデータ取りに有効です。

-002



温度測定タイプ

## 部品構成

標準タイプ  
(-001)



耐圧ジャケット上部  
・ステンレス製(SUS304)  
・ねじ式蓋



付属PFAバイアル  
・容量30ml  
・内面丸底・外面平底



耐圧ジャケット下部  
・アルミニウム製  
・スリット8箇所

共通部品  
(-001、-002)



強化ガラス筒  
・外側PFAフィルム加工

温度測定タイプ  
(-002)



耐圧ジャケット上部  
・ステンレス製(SUS304)  
・ねじ式蓋  
・ポートカバー加工



付属PFAバイアル  
・ポート加工  
・容量30ml  
・内面丸底・外面平底

## F-1329 マイクロ波型PFA分解容器

Microwave sample decomposition vessel

PFA・アルミニウム・硝子・SUS◎

■ マイクロ波を照射し、高温・高圧化での試料・分解反応を、短時間で行うための耐圧容器です。

半透明のPFA容器と耐圧ジャケットを組み合わせる事により、資料の分解状態を外部より、観察することが出来ます。

■ 従来から知られる資料の分解法は、外部よりヒーターやマイクロ波で加熱する方法が取られてきました。しかし装置が高額な事や取扱に時間がかかること、また外からの目視観察が出来ず、装置を外してからでないと資料の変化が確認できないなど、不都合な点も多かったのが実情でした。そこで独自のスリット部を設けた金属製の耐圧容器に、耐溶媒製の高いPFA容器を組み合わせることで、マイクロ波を直接照射でき、短時間での資料分解を容易にしました。

またアルミのスリット部に光を当てること、資料の色・泡・蒸気など変化が確認できます。

★ 危険な加熱を防止するため、温度測定をご利用ください。

★ 試料×試薬×レンジ出力の組合せによる急激な温度上昇・内圧アップを事前実験により防げます。

★ 温度測定タイプでの温度上昇のデータ採取により、仕様条件内(※ 最高使用温度：180℃、最高耐圧：1.5MPa)での安全な実験が可能です。

★ そのデータを活用すれば、標準タイプを使用した複数加熱実験など、幅広い使い方も可能です。



-002

センサーは別売です。

上部のポート部分よりセンサーを挿入可能。(径1.6mmφのセンサーのみ挿入可能) 内部温度のデータ取りや、異常昇温による事故防止にも有効です。安全が確認できれば、標準タイプへの買い替えも判断できます。



-002用フタ

←センサーカバー

PFA容器の蓋には、下方向にセンサーカバーが連結されています。センサーカバー先端は塞がっているため、温度計センサーと容器内の試薬が触れない構造になっています。センサーカバーは消耗した場合でも交換可能です。

F-1329 コードNo.	-001	-002
品名	マイクロ波型PFA分解容器 標準タイプ	マイクロ波型PFA分解容器 温度測定タイプ
内容量 ml	30	
最高使用温度	180℃	
最高耐圧	1.5MPa	
反応試薬合計	5～10ml	
試料重量	0.1～0.2g	
試料分解時間	5～15分	
マイクロ波最高出力	100～500W(家庭用電子レンジ使用可)※	
サイズ	外径45mm×高さ80mm	外径45mm×高さ95mm

◎ 使用する電子レンジおよび加熱装置は出力可変型のみになります。高出力一定型は使用できません。

◎ 試料+試薬の合計量は5ml以上10ml以下で加熱分解してください。

◎ 濃硫酸および過塩素酸は試薬として使用できません。

◎ ジャケットのみの販売は行っていません。

※ 試料と試薬の組合せによって異なります。初めは低出力での実験をお願いします。